

I 年理数科蒜山研修

【研修内容】

7月24日（水）～26日（金）の3日間、理数科I年生80名を対象に蒜山研修を実施しました。

1日目は蒜山周辺でフィールドワークを行い、神庭の滝自然公園にて大学の先生の指導の下、ニホンザルの行動観察をしました。また、津黒いきものふれあいの里では里山の自然観察とサイエンスラリーを実施しました。

2日目は地学実習として、学校近くの採石場で万成石を割って観察した後、「岡山の土台花こう岩を知る」という演題で講演を聴きました。午後は「一宮チャレンジストロー斜塔」に挑戦し、創造力や思考力、コミュニケーション力を身につける研修を受けました。

最終日3日目は、ポスターの作成と発表を行いました。期間中に体験したり学習したりしたことを班で協力してまとめ、聞き手にもわかりやすい発表を目指して取り組みました。

【生徒の感想】

場に応じて着眼点や探求の方法を様々に変える力とその選択肢を身につけた。これは単なる屋内の調べ学習・受け身の講演及び机上の空論では体験することが出来ず、自主的な課外活動で実物に触れながら行う活動を繰り返してはじめて身につくものだと思えて実感した。



フィールドワークで、大学の先生から話を聞いて終わるのではなく、その話を聞き自分で問いを立てる力が身についたと思う。

先をある程度見据えて行動することと、説得力のあるポスター制作をするために一つの信用できる情報だけでなく、ほかの情報からもつなげて自分たちのポスターを考え、作ることができる力を身に着けた。

